

タイトル	著者	出版社	発行年
ハンセン病絶対隔離政策と日本社会（無らい県運動の研究）	無らい県運動研究会（著）、共同代表=内田博文・徳田靖之（編集）	六花出版	2014
宿命の子	高山 文彦	小学館	2014
残心 世界のハンセン病を制圧する	笹川 陽平	幻冬舎	2014
病いの共同体:ハンセン病療養所における患者文化の生成と変容	青山陽子	新曜社	2014
ハンセン病の脱神話化—自己実現型ボランティアの可能性と陥穽	西尾雄志	皓星社	2014
ハンセン病と教育	佐久間 建	人間と歴史社	2014
ハンセン病と民俗学—内在する差別論理を読み解くために	今野 大輔	皓星社	2014
死ぬふりだけでやめとけや 絛雄二詩文集	絛 雄二(著) 姜 信子(編)	みすず書房	2014
医務服を着た郵便局長3代記—ハンセン病国立療養所栗生楽泉園とともに	埼玉新聞社（編）	埼玉新聞社	2013
ハンセン病—差別者のボクたちと病み棄てられた人々の記録	寿郎社	三宅 一志（著）、福原 孝浩（著）	2013
あん	ドリアン助川	ポプラ社	2013
てっちゃん:ハンセン病に感謝した詩人	権 徹	彩流社	2013
ハンセン病講義—学生に語りかけるハンセン病（社会福祉叢書）	大野 哲夫（編集）、山本 尚友（編集）、花田 昌宣（編集）	現代書館	2013
会津が生んだ聖母 井深八重—ハンセン病患者に生涯を捧げた	星 優文子	歴史春秋出版	2013
螢の森	石井 光太	新潮社	2013
リーかあさまのはなし:ハンセン病の人たちと生きた草津のコンウォール・リー	中村 茂 小林 豊	ポプラ社	2013
てっちゃん:ハンセン病に感謝した詩人	権 徹	彩流社	2013
明石海人歌集	明石 海人（著）、村井 紀（編集）	岩波文庫	2012
神谷美恵子—ハンセン病と歩んだ命の道程	大谷 美和子	くもん出版	2012
火花—北条民雄の生涯	高山 文彦	七つ森書館	2012
ハンセン病患者の生活史—隔離経験を生きるということ	坂田 勝彦	青弓社	2012
生きるって、楽しくって—ハンセン病を生き山内定・きみ江夫妻の愛情物語	片野田 斉	クラッセ	2012
新装版 わたしが棄てた・女	遠藤周作	講談社	2012
長い道	宮崎かつゑ	みすず書房	2012
生まれてはならない子として	宮里 良子	毎日新聞社	2011
近代日本のハンセン病問題と地域社会	廣川 和花	大阪大学出版会	2011
輝いて生きる—ハンセン病国賠訴訟判決から10年	八重樫 信之	合同出版	2011
弱さを絆に—ハンセン病に学び、がんを生きて	荒井 英子(著) 荒井猷(編)	教文館	2011
ハンセン病図書館:歴史遺産を後世に	柴田隆行・山下道輔	社会評論社	2011
部落差別をこえて（朝日新書）	臼井敏男	朝日新聞出版	2010
不可能を可能に 世界のハンセン病との闘い	笹川 陽平	明石書店	2010
闇を光に ハンセン病を生きて	近藤宏一	みすず書房	2010
いつの日にか帰らん ハンセン病から日本を見る	加賀田 一	文芸社	2010
小島の春	小川正子	長崎書店刊	2009
戦争とハンセン病	藤野豊	吉川弘文館	2009
命いとおし—詩人・塔和子の半生 隔離の島から届く魂の詩	安宅 温	ミネルヴァ書房	2009
井深八重の生涯に学ぶ—“ほんとうの幸福”とは何か	中村剛	あいり出版	2009

タイトル	著者	出版社	発行年
世界のハンセン病現代史(世界人権問題叢書)	トニー グールド	明石書店	2009
ルポ 日本の縮図に住んでみる	日本経済新聞社	日本経済新聞出版社	2009
日本の癩くらい>対策から何を学ぶか	成田 稔	明石書店	2009
生かされる日々—らいを病む人びとと共に	上田政子	皓星社	2009
人間回復の瞬間(とき)	上野正子	南方新社	2009
いのちの歌:東條耿一作品集	東條耿一	新教出版社	2009
ハンセン病療養所のエスノグラフィ—隔離のなかの結婚と子ども	山本須美子 加藤尚子	医療文化社	2008
封印の島:上下	ヴィクトリア・ヒスロップ(著)中村妙子(訳)	みすず書房	2008
ハンセン病を生きて—きみたちに伝えたいこと	岩波書店	伊波 敏男	2007
ハンセン病とともに 心の壁を超える	熊本日日新聞社(編集), 熊本日日新聞(編集)	岩波書店	2007
アメリカのハンセン病 カーヴィル発もはや一人ではない(世界人権問題叢書)	スタンレー スタイン	明石書店	2007
疫病と世界史(中公文庫):上下	ウィリアム・H. マクニール	中央公論新社	2007
鈴木時治画集 生きるあかし—ハンセン病療養所にて	鈴木時治 寺島萬理子	皓星社	2007
草津喜びの谷の物語 コーンウォール・リーとハンセン病	中村 茂	教文館	2007
子どものニュースウイークリー:親子で読めるニュースのことば2007年版	読売新聞社	中央公論新社	2007
砂の器 上下(改版)	松本清張	新潮社	2006
ハンセン病重監房の記録	宮坂 道夫	集英社新書	2006
差別とハンセン病(平凡社新書)	畑谷 史代	平凡社	2006
ハンセン病と戦後民主主義—なぜ隔離は強化されたのか	藤野豊	岩波書店	2006
差別とハンセン病 柵の垣根は今も	畑谷 史代	平凡社	2006
ハンセン病検証会議の記録	内田博文	明石書店	2006
ハンセン病とともに	岡部伊都子	藤原書店	2006
ハンセン病の療養所をつくったお坊さん	トレヴァー・マーフィ 溝江純	ルック	2006
知っていますか?ハンセン病と人権一問一答	神 美知宏 藤野 豊 牧野 正直	解放出版社	2005
医者への僕にハンセン病が教えてくれたこと	和泉 眞藏	シービーアール	2005
世界ハンセン病紀行—出会いと復権の七つの旅	平沢保治	かもがわ出版	2005
ハンナ・リデルと回春病院	猪狩隆明	熊本出版文化会館	2005
失われた歲月:上下	田中文雄	皓星社	2005
ツルとタケシ:沖縄いくさ物語宮古島編	儀間比呂志	清風堂書店	2005
案々理解ハンセン病—人生被害—人間回復への歩み	武村 淳(編集) ハンセン病国賠訴訟を支援する会熊本(編集)	花伝社(発売:共栄書房)	2005
憲法と平和を問いなおす	長谷部 恭男	ちくま新書	2004
神谷美恵子の世界	江尻 美穂子	みすず書房	2004
生きがいについて	神谷 美恵子	みすず書房	2004
モーターサイクル・ダイアリーズ	エルネスト・チェ・ゲバラ	角川書店	2004
世界のハンセン病がなくなる日	笹川 陽平	明石書店	2004
病いの経験を聞き取る—ハンセン病患者のライフストーリー	蘭 由岐子	皓星社	2004
検証・ハンセン病史	熊本日日新聞社	河出書房新社	2004

タイトル	著者	出版社	発行年
ハンセン病をどう教えるか	『ハンセン病をどう教えるか』編集委員会(編集)	解放出版社	2003
心うたれるほんとうにあった話. 4年生	川村たかし	ポプラ社	2003
ハンセン病文学全集<第1巻～第10巻>	加賀乙彦、編集	皓星社	2002
とがなくてしす	沢田五郎	皓星社	2002
吹雪と細雨—北条民雄・いのちの旅	清原 工	皓星社	2002
ハンセン病に咲いた花: 初期文芸名作選: 戦前編 戦後編	盾木 汎	皓星社	2002
ライは長い旅だから—詩と写真	笹 雄二 趙 根在	皓星社	2001
ハンセン病療養所から50年目の社会へ	島 比呂志 矢辺 拓郎	解放出版社	2001
よみがえる"万葉歌人"明石海人	荒波力	新潮社	2000
証人調書①『らい予防法国賠訴訟』大谷藤郎証言	大谷藤郎	皓星社	2000
生きて、ふたたび 隔離55年—ハンセン病患者半生の軌跡	国本衛	毎日新聞社	2000
島が動いた—隔絶六十年の体験から『小島の春』は今!	加賀田 一	文芸社	2000
カミングアウト	島田和子: 尾崎曜子	新日本出版社	2000
九〇年目の真実—ハンセン病患者隔離政策の責任	「らい予防法」違憲国家賠償請求西日本弁護団	かもがわ出版	1999
ハンセン病政策の変遷	犀川一夫	沖縄県ハンセン病予防協会	1999
裁判に花を	島比呂志	八十路書房	1999
わたしの弔い合戦—いま、なぜ、国家賠償請求か	志村康		1999
ハンセン病療養所 隔離の90年	全国ハンセン病療養所入所者協議会	解放出版社	1999
日本のアウシュヴィッツ	高田孝		1999
火花—北条民雄の生涯	高山文彦	飛鳥新社	1999
故郷へ	らい予防法人権侵害謝罪・国賠訴訟原告団／弁護団		1999
90年目の真実—ハンセン病患者隔離政策の責任	「らい予防法」違憲国賠西日本訴訟弁護団(編集)	かもがわ出版	1999
川端康成全集. 第7巻	川端康成: 山本健吉	新潮社	1999
日本の歴史明治維新から現代. 4	坂井俊樹	ポプラ社	1999
プリキの貨幣	「らい予防法」違憲国賠訴訟弁護団／原告団		1998
ヒイラギの檻—20世紀を狂奔した国家と市民の墓標	瓜谷修治	三五館	1998
とがなくてしす—私が見た特別病室	沢田五郎	ぶどうばん通信	1998
隔離の里—ハンセン病回復者の軌跡	宮下忠子	大月書房	1998
わたしの船長さん	和田英昭: 小林豊(画家)	講談社	1998
花に逢はん	伊波敏男	日本放送出版協会	1997
六八歳の春—隔離からの開放	柴田良平	社団法人ゼンコロ	1997
『隔離』という病い—近代日本の医療空間	武田徹	講談社	1997
知ってますか? ハンセン病と人権—問—答	ハンセン病と人権を考える会	解放出版社	1997
人生に絶望はない—ハンセン病百年のたたかい	平沢保治	かもがわ出版	1997
忘れられた命の詩・ハンセン病を生きて	笹雄二	ポプラ社	1997
日本らい史	山本俊一	東京大学出版会	1997
無菌地帯—らい予防法の真実は	大竹章	草土文化	1996

タイトル	著者	出版社	発行年
ハンセン病とキリスト教	荒井英子	岩波書店	1996
らい予防法廃止の歴史	大谷藤郎	勁草書房	1996
ニュースキャスター亜紀のハンセン病取材記	武村淳	熊本日日新聞情報文化センター	1996
『らい予防法』四十四年の道のり	成田稔	皓星社	1996
証言・日本人の過ち－ハンセン病を生きて－森元美代治・美代子は語る	藤田真一	人間と歴史社	1996
歴史の中の『癩者』	藤野豊	ゆみる出版	1996
定本 北条民雄全集：上下	北条民雄：川端康成	東京創元社	1996
ハンセン病とキリスト教	荒井英子	岩波書店	1996
『らい予防法』を問う	「らい」園の医療と人権を考える会	明石書店	1995
はじめに差別があった－『らい予防法』と在日コリアン	国本衛ほか	現在企画室	1995
神谷美恵子	江尻美穂子	清水書院	1995
ハンナ・リデルーハンセン病救済に捧げた一生	ジュリアボイド著 吉川明希訳	日本経済新聞出版社	1995
ハンセン病・隔絶四十年－人間開放へのメッセージ	伊奈教勝	明石書店	1994
癩者の生－文明開化の条件としての	澤野雅樹	青弓社	1994
海人全集上・下・別巻	明石海人	皓星社	1993
光仰ぐ日あるべし	国立療養所奄美和光園	柏書房	1993
『らい予防法』と患者の人権	島比呂志	社会評論社	1993
日本ファシズムと医療－ハンセン病をめぐる実証的研究	藤野豊	岩波書店	1993
生まれたのは何のために－ハンセン病患者の手記	松本信	教文館	1993
あとは野となれ	曾野綾子	朝日新聞出版	1992
らい予防法の改正を	島比呂志	岩波ブックレット	1991
隔離－故郷を追われたハンセン病患者たち	徳永進	岩波書店	1991
生きぬいた証に	立教大学史学科山田ゼミナール	緑陰書房	1989
風と海のなか－邑久光明園入園者八〇年の歩み	邑久光明園入園者自治会	日本文教出版	1989
漂泊の日に	國満静志	皓星社	1988
門は開かれて らい医の悲願－四〇年の道	犀川一夫	みすず書房	1988
『癩者』の息子として	林力	明石書店	1988
名ぐはし島の詩－長島愛生園に在日朝鮮人・韓国人を訪ねて	喜田清	海声社	1987
忘れられた地の群像－東北新生園入園者自治会四〇年史	東北新生園入園者自治会	東北新生園入園者自治会	1987
闇をてらす足あと：岩下壮一と神山復生病院物語	重兼芳子	春秋社	1986
おじいさんの手	菅竜一：鈴木恵子	太郎次郎社エディタス	1986
病棄て－思想としての隔離	島田等	ゆみる出版	1985
名もなき星たちよ－今は亡き病友らに捧げる－星塚敬愛園入園者五〇年史	星塚敬愛園入園者自治会		1985
命ひたすら－療養50年史	国立療養所沖繩愛楽園入園者自治会		1984
現代日本病人史－病人処遇の変遷	川上武	勁草書房	1982
隔離－らいを病んだ故郷の人たち	徳永進	ゆみる出版	1982
風雪の紋－栗生楽泉園患者50年史	栗生楽泉園患者自治会		1982
隔離の里程－長島愛生園入園者五十年史	長島愛生園入園者自治会		1982

タイトル	著者	出版社	発行年
閉ざされた島の昭和史－国立療養所大島青松園入園者自治会五〇年史	大島青松園入園者自治会		1981
北条民雄:いのちの火影	光岡良二	沖積舎	1981
星の子	オスカー・ワイルド:J・ウェストウツド	ほるぶ出版	1981
俱会一処	多磨全生園患者自治会		1979
秘境を開く－そこに生きて70年	松丘保養園70周年記念誌刊行委員会／編	北の街社	1979
望郷の丘:多磨盲人会創立20周年記念誌	多磨盲人会	多磨盲人会	1979
差別者のボクに捧げる！－ライ患者たちの苦闘の記録	三宅一志	晩聲社	1978
全患協運動史－ハンセン氏病患者の闘いの記録	全国ハンセン氏病患者協議会	一光社	1977
自治会五十年史	国立療養所菊池恵楓園患者自治会	国立療養所菊池恵楓園患者自治会	1976
らいからの解放－その受難と闘い	大竹章	草土文化	1970
いのちの初夜	北条民雄	角川文庫／勉誠出版	1955